

授業科目名 ( 英文名 )	学校栄養教育実習 2 ( Teaching Practice of Nutrition Teacher 2 )	科目区分 対象学生	
単位数	1.0	開講年次・ 学期	4 年次・前期
担当教員	芦田 宏 尾崎 公子 保坂 裕子 坂本 薫 永井 成美 井上 靖子 竹内 和雄 乾 美紀	所属	環境人間学部
オフィス・場所		連絡先	
講義目的及び到達目標	<p>【目的】 栄養教諭として必要な知識、技能、態度、心構えや実践的な指導力を習得するために、次の内容を実習する。</p> <p>【到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 特別な指導などを有する児童及び生徒への相談指導の実際と、他の児童及び生徒への指導上の配慮を学ぶ。</li> <li>2. 学級活動、給食の時間、教科担任などと連携した食に関する指導の参観、補助、実施を行う。</li> <li>3. 食に関する指導に係る全体計画の作成手順や、学校、家庭、地域が連携した食に関する指導を理解する。</li> <li>4. 学校給食の栄養管理、衛生管理などの管理業務を習得する。</li> </ol>		
講義内容・授業計画	<p>各実習校の実習計画に従い、次の内容の実習を行う。( 担当者全員 )</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学校についての理解 学校経営、校務分掌の理解、服务等</li> <li>2. 児童生徒への個別的な相談指導の実習 指導・相談の場の参観、補助</li> <li>3. 児童生徒への教科・特別活動における教育指導の実習 学級活動における給食の時間における指導の参観・補助 教科等における教科担任等と連携した指導の参観、補助 給食放送指導、配膳指導、後片付けの参観・補助 児童生徒集会、委員会活動、クラブ活動における指導の参観・補助 指導計画案、指導案の立案作成、教材研究</li> <li>4. 食に関する指導の連携・調整の実習 校内における連携・調整( 学級担任、研究授業の企画立案、校内研修等 )の参観、補助 家庭・地域との連携・調整の参観、補助</li> <li>5. 学校給食管理 給食基本計画への理解、 栄養管理、衛生管理、調理指導等に関する実習計画 実習校を1か月以上前に訪問し、指導教諭から担当となる学級の児童・生徒の実態や、食に関する指導の全体計画、実習生が担当する箇所やそのための事前課題について指導と助言を受ける。教育実習中は、事前に設定した課題に取り組むとともに、毎日の実習記録を実習先に翌日提出するとともに、課程専任教員とも毎日定時連絡を取り状況や事故の有無について伝える。</li> </ol>		
テキスト	プリントを配布する。		
参考文献	実習先の指導者と実習内容について相談のうえ、必要となる参考書や資料を実習に持参する。		
成績評価の基準・方法	<p>成績評価の基準 集栄養教諭として必要な知識、技能、態度、心構えや実践的な指導力を習得できた者に単位を授与する。講義目的・到達目標に記載する能力の到達度に応じてSからCまでの成績を与える。</p>		

	<p>成績評価の方法          実習先からの評価表（30%）、指導案及び教材（20%）、実習態度（20%）、自己評価表を含む実習レポート（30%）を基準として、受講態度（積極的な発言や質問等）を含めて総合的に評価する。</p>
履修上の注意・履修要件	<p>履修要件：          1. 学校栄養教育、栄養教諭に対する熱意がある者。          2. 以下に掲げる教職に関する科目を全て履修済（もしくは年度内履修完了見込み）であること。              教職論、教育原論、教育心理学、生徒指導論（栄養教諭）、              学校栄養教育の理論と方法、食育指導の理論と方法          3. 栄養教諭、または学校栄養職員採用試験を受ける者。</p>
実践的教育	<p>担当教員には、栄養教諭として、学校における食に関する指導等に携わった経験を持つ教員（能瀬）を含む。教育実習校における研究授業を行える力の習得、および学校という場に関する理解、教員とを目指す学生としての資質の向上を目指す。</p>
備考	<p>実習先の指導栄養教諭と相談し、事前勉強、課題設定等入念に準備を行うこと。食に関する指導は、学校給食を生きた教材として活用しつつ、学校教育活動全体の取り組みの中で進められるため、他の担当教員とも相談し、実習内容、食育教材、指導案等を準備する。</p>